

# 地域連携推進会議 議事録

## 1. 開催概要

- 会議名：地域連携推進会議
- 日時：令和7年12月5日(金) 13:30 ~ 14:30
- 会場：グループホーム光風
- 出席者:(構成員)7名
  - 入居者代表
  - 入居者ご家族代表
  - 地域の関係者
  - 福祉・経営に知見を有する方
  - 行政担当職員
  - グループホーム光風 (管理者)
  - グループホーム光風 (担当)

## 2. 会議内容

- ① 管理者挨拶
- ② 参加者自己紹介
- ③ 運営状況の説明

### 【利用者の状況】

- 定員・現員：定員10名(男性8名、女性2名)。
- 対象者要件：主たる障がい知的障がいであり、身の回りが概ね自立し、共同生活が可能な方。
- 障がい特性：難病指定疾患等。

### 【利用者の生活(日課)】

- 平日：6:00 起床、日中は就労支援B型事業所(ゆうきの里、ワークショップ大和、すばるワークセンター)へ通所。16:15 帰宅後、夕食・入浴等を経て22:00 就寝。
- 休日：自由時間中心(外出等)。

- **生活費収支(月額)**: 合計 65,000 円(家賃、光熱水費、食費、日用品費含む)※実費負担額目安 55,000 円。年度末に経費を精算を行い余剰分は返金。

#### 【組織体系】

- **職員配置**: 管理者、サービス管理責任者、事務員、担当職員(各 1 名)および世話人 3 名。
- **世話人の役割**: 食事提供(手作り)、金銭管理、健康管理、記録整備等。管理性を排除し、家庭的な支援を重視。

#### ④ 事業内容(令和 7 年度事業計画)

#### 【事業方針】

- **スローガン**: 「今日の充実 明日への希望」
- **重点項目**: 利用者の権利擁護、安全確保、プライバシー保護、社会参加支援、自己決定の尊重。

#### 【運営・管理体制】

- 担当職員による定期訪問(月 2 回)、グループホーム担当者会議(2 ヶ月に 1 回)。
- 虐待防止・身体拘束適正化検討委員会の設置とセルフチェック、研修の実施。

#### 【災害対応・BCP(業務継続計画)】

- **設備**: スプリンクラー、消防通報システム、警備システム(ALSOK)完備。
- **運用**: BCP 策定済み。避難訓練(年 2 回)、ハザードマップ・感染症対策マニュアル整備、備蓄品確保。

#### ⑤ 施設見学

- 共有スペース(食堂・談話室)、水回り(浴室・ランドリールーム)、居室、避難経路の確認を実施。

## ⑥ 委員より感想および質疑応答

### 【感想】

- 地域の方との交流もあり、利用者が暮らしやすいよう工夫されていると感じました。
- 安全対策もしっかりされており、改めて安心安全の確認ができて良かったです。
- 浴室や各居室が広く、環境が整っています。
- 入居者の方々の生活内容がよく分かりました。今後ともよろしくお願いします。

### 【質疑応答】

- Q: 包括型グループホームへの移行は考えていませんか？
- A: 現時点では検討中です。
- Q: 70歳を超える方の今後は想定されていますか？
- A: 現時点では検討中ですが、加齢により支援ニーズが変化した場合には、介護保険サービスへスムーズな移行ができるよう、関係機関と連携し準備を進めていく方針です。

## ⑦ 閉会

### 【配布資料】

- 次第
- 地域推進連携会議 名簿
- 事業内容説明資料
- 法人パンフレット
- グループホーム光風パンフレット
- アンケート用紙

### 【開示資料】

- 法人 事業継続計画【BCP】
- 法令遵守マニュアル
- 阿賀野市災害ハザードマップ(地震・水害)